



京大・理・生物

理学研究科生物科学専攻

生物多様性コロキウム

おもしろDuoトーク

# 「猿人は隕石をみたか？」

他専攻からも来聴歓迎！

日時：12月21日2015年（月）

16:30～

場所：理学6号館302号室



地球惑星の

**土山 明**  
教授

はやぶさ試料の分析により、隕石のふるさとが小惑星であることや小惑星表面の活動的な様子がわかった。2020年には、はやぶさ2が小惑星RYUGUから試料を持ち帰る。隕石など地球外試料から何がわかるのか、サンプルリターン計画の意義とは？そして猿人は本当に隕石の落下を目撃したか、これに関連して自然災害論についてもちょっぴり言及したい。

&

動物学教室の

**中務 真人**  
教授

420万年前までに誕生したアウストラロピテクス猿人は、本格的に地上進出した最初の人類である。東アフリカでは、猿人化石は大地溝帯の中からは知られていなかったが、われわれは初めて大地溝帯よりも東側で猿人を発見した。従来の予想を超える広い分布域と200万年間を超える生息年代は、大隕石の衝突を目撃した猿人がいたことを示唆するかもしれない。

世話人

生物科学専攻動物学教室

高橋淑子 内線 4102

Biodiversity  
Colloquium

Supported by 総長裁量経費「生物多様性を基軸とした学際融合研究拠点形成の基盤づくり」